

町内会・自治会の災害備蓄物品は？

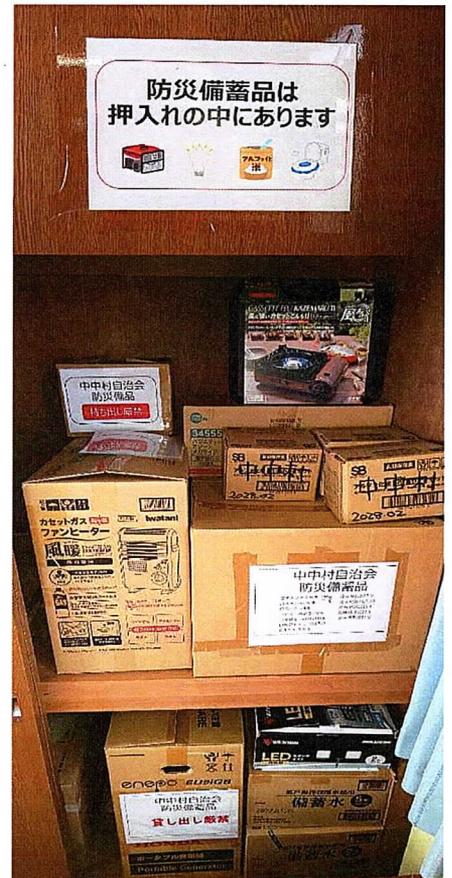


第6号
発行
中中村自治会
OB会

大規模な災害が発生した時の「心構え」や「行動」については、東京都・町田市、そして昨年に作成された中村町内会の「防災マニュアル」にその対応が示されています。また、災害発生時に自身の安全や救助を要請するための「防災タオル」が自治会員各世帯に配布されました。

中村町内会そして**中中村自治会**では災害の発生に備えて防災倉庫に災害備蓄物品を備蓄しています。

中村町内会では火災が発生した場合に地域住民が消火栓を使用できるスタンドパイプ、人命救助のために倒壊した建物を取り除くための油圧ジャッキ、ハンマー、バールの工具、負傷者や物品を搬送できる組立て式リヤカー、夜間作業のための投光器、炊き出し用のプロパンガスと寸胴鍋等々です。



中中村自治会では独自に備蓄食料や飲料水、ガスボンベ式の発電機やファンヒーター、カセットコンロ等、自治会員の皆さんの一時避難に対応できる装備を備蓄しています。

またこの地域の避難所となる小山小学校や小山中学校の防災倉庫（災害備蓄倉庫）にも町田市の防災備蓄物品が備蓄されています。災害が発生した場合または発生する可能性がある場合に慌てることなく行動できるように、平常時から

- ① 家族全員がどのような行動をとるか話し合っておく。
- ② 被災時（避難時）に必要な防災物品を準備しておく。
- ③ 避難施設への退避経路を決め避難できるかどうか実踏してみる。

等を検討する必要があるのではないのでしょうか。